

Designer r32.4.17 Release Notes

[r32.4.17 Full \(Pro\) をダウンロード](#)

Full (Pro) build: 932

Starter build: 933

Released: 2026年9月16日

● が付いた項目は [r34.1.1](#) にも含まれています。

修正

- **DSOF - 33203** - Designer の起動後にビデオ信号を接続した場合でも、Matrox のキャプチャ入力が認識されるようになりました。従来は Designer を再起動するまで黒のままでした。
- **DSOF - 33444** - SDI 信号が失われて復帰した後も、Deltacast のキャプチャチャンネルが正常に動作を継続するようになり、同じカードの他のチャンネルでフレーム落ちが発生することがなくなりました。
- **DSOF - 33730** - セクションの区切りをまたぐビデオレイヤーが、前のセクションをクリックして戻った際に正しいフレームを表示するようになり、再生位置が巻き戻ることがなくなりました。
- **DSOF - 33620** - Legacy Video Layer が、フレームの到着が遅れた際に黒を表示するのではなく、最後にデコードしたフレームを保持するようになりました。
- **DSOF - 33510** - ビデオのプリフェッチが、プロジェクトのテンポに応じて伸縮するウィンドウではなく、一定の時間だけ先読みするようになりました。
- **DSOF - 33626** - タイムライン上の別の場所に同じ名前のレイヤーが存在する場合でも、HTTPSockpuppet が Sockpuppet の制御下にあるレイヤーのみを変更するようになりました。
- **DSOF - 23825** - 異なるトラックを使用するスナップショットを復元した際に、'm_track' エラーが報告されるのではなく、それらのトラックの正しいレイヤーが表示されるようになりました。
- **DSOF - 33628** - Set List を変更してサイズを変更した後に、Cue List が "list index out of range" を繰り返し報告することがなくなりました。
- **DSOF - 33728** - About Designer Starter ダイアログの **Get Pro Version** (Pro 版の入手) ボタンが、正しいページにリンクするようになりました。
- **DSOF - 33721** - マルチマシンのセッションで、メディアレジストリが大きくなるにつれてフレームの停止時間が長くなっていくことがなくなりました。
- **DSOF - 33515** - まれな状況でテキストレイヤーをレンダリングした際に、アクセス違反が報告されることがなくなりました。
- **DSOF - 33199** - Application Mode 以外で起動後にモニターをホットプラグした際に、Designer がエラーを報告しにくくなりました。
- **DSOF - 32491** - フィードの検出と設定がより確実に行われるようになりました。
- **DSOF - 33348** - Undistorted Frontplate の空間マップを使用した際に、Designer がコンソールに "Invalid target to resolveAt" メッセージを大量に出力することがなくなりました。